

# #アンプ de GO!!

with

# Marshall

第11回

season2

山田海斗 [Novelbright]



“アンプでギターを鳴らす大切さ”を伝えるべく、毎月連載している「#アンプ de GO!!」。シーズン2の第11回目は、Novelbrightの山田海斗に登場してもらった！ライブでもマーシャル・アンプを使用しているという海斗だが、エントリー・モデル：MG10ではどんなサウンドを作り上げてくれるのか？ セッティング動画も本誌 Twitterアカウントにアップされているので、本ページと共に楽しんで欲しい!!

Text / KAZUKI KONDO [GIGS] Photo / KEIJU TAKENAKA [ARTIST PHOTO STUDIO / <https://www.artist-photo-studio.com>]  
製品のお問合わせ先 / ヤマハミュージックジャパン [<http://www.marshallamps.jp>]

## アンプの中でも“これが原点だな”というのがマーシャル

「10Wの小さなアンプなんですけど、僕が昔使ってた家用のアンプとは違ってパワー・アップしてますね。小さいからパワーがないというわけでは全然なく、逆に凝縮されてスコーンと前に飛び出すような音が印象的でした。歪ませてアルペジオ・フレーズを弾いてももしっかり粒が残っているので、マイクで録ればライブなど

でも全然使えるなどと思いますね。

僕はライブでマーシャルのブルースプレイヤーを使っているんですけど、いろんなアンプがある中でも“これが原点だな”というのがマーシャル・ブランドの印象です。どクリーンにならない感じだとか、エフェクターを使うときもマーシャル・アンプで土台を作ったからこそ歪みとかも乗りやすくなる。それに単体で歪ませても“ロックだな”という音が出るので。

アンプの音を知らないは今流行ってるデジタ

ルの良さが分からないとっていて。アンプの音をモデリングして鳴らしているのがデジタルの音なので、実際のアンプを鳴らさないとその音の良さは分からないのかなと思います。デジタルは便利すぎてアンプと向き合っていくストーリーが自分的にはあまり感じられないから、真空管で鳴らしていくうちに“どういう音がどんな環境で鳴ってるのか”っていう時間を一緒に積み上げていくのがギターを弾いている者として楽しいのかなって感じですね」(海斗)



▲今回海斗が作ってくれたお薦めのセッティングはゲインが1時、ボリュームが9時すぎ、コンツアーが1時方向となっている。「STスタイルで弾いたのでちょっと歪みの量を多くして粗めな音にしたんですけど、コンツアーを上げることでしっかり芯が出てエッジの効いた音になるんで、歪んでも輪郭が残るように作りました。今回はフロントPUだけではなく、どのPUで鳴らしても音が飛ぶようにして、あとはギター本体のボリュームで調節できるようにしました」(海斗)



## 海斗のサインが入ったMarshall MG10を1名様にプレゼント!

応募方法

- ①GIGSのTwitter【@GiGS\_Official】をフォロー。
- ②YamahaのK-ONB(けいおん部)【@yamaha\_k\_onb】かMarshall Japan【@Marshall\_Japan】のいずれかをフォロー。
- ③本特集と連動したアーティスト試奏動画ツイートをRTするだけ!

※締切は3月27日24時まで! 当選者はDMにてご連絡いたします。ドシドシ応募ください!!

